

# 建築祭・方除け



牛頭天王総本宮  
廣峯神社



## ＜交通アクセス＞

### 【電車でお越しの方】

JR・山電「姫路駅」から神姫バスで競馬場前まで約20分  
競馬場前バス停近くのタクシー会社からタクシーで約10分

### 【お車でお越しの方】

播但連絡有料道路「花田IC」から駐車場まで約30分  
姫路バイパス「姫路南ランプ」から駐車場まで約35分  
JR・山電「姫路駅」から駐車場まで約27分  
鳥居前駐車場から境内まで徒歩約10分



## 御鎮座より悠久の祈りを奉げて

当社は姫路市を一望できる広峰山の山頂に位置し、崇神天皇の御代に白幣山（奥の院）へご祭神が祀られてより悠久の祈りを奉げてきた由緒ある古社です。奈良時代、遣唐使であった吉備真備公によって大社殿が造営されると、その信仰圏は播磨から西日本本へと広がり、朝廷からも勅願社として厚い尊崇を受けていました。

また、戦国時代においては、羽柴秀吉の名軍師と誉れ高い黒田官兵衛も、祖父の代より当社の恩恵を受けられたことはよく知られています。

御祭神は、姫路城の守護神として歴代城主より崇敬され、建築に関わる方除方崇除（ほうよけかたたがいよけ）、火災難除けの神さまとしても信仰されています。

毎年十一月十五日は陰陽道における最高の日であり、この吉日に執り行われるのが当社三大祭のひとつである「御柱祭」です。

この祭礼は、建築関係の方々にとっても大切な神事となっております、工事の安全や事業の繁栄を祈願する方が多く参拝されています。



神門から望む姫路市



国指定重要文化財の拝殿・本殿

国指定重要文化財

縁結び・病氣平癒・厄除け

# 廣峯神社

姫路市広嶺山52

079-288-4777

<http://www.hiromine-j.jp>



# 『建築祭』を迎えて

《地鎮祭・上棟祭・竣工祭・入居清祓》

この度は無事地鎮祭を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

昔、家づくりは木材の伐採からはじまり、様々な建築祭を執り行いながら一年をかけて進める大仕事でした。いざ物事を進めるにあたっては慎重に吉日を選び、神主を招いて神霊の御加護を願い、少しでも危難を回避して安定した日々を招来する努力がなされていたのです。

現在では地鎮祭、上棟祭、竣工祭、入居清祓を執り行うことが多く一般的になっています。当社の御祭神「素戔鳴尊」と「奇稻田媛命」は、【こよみ】を司る「天道神」と「歳徳神」であり、農業の神様としても有名ですが、古来より**建築、方除け、魔除けの神様**として崇められ、兵庫県内はもとより日本全国の人々から篤く信仰されてきました。

この度の建築工事が当社の大神様の御加護を賜り、安全で無事に進行しますことを御祈念申し上げます。

## 地鎮祭とは…

地鎮祭は施主様が行う最初の建築祭であり、家を建築する前にその空間と土地を大自然から借用するという謙虚な気持ちを持って、土地に関与する神々を崇め、その土地に住まいを建築することを奉告し、神慮をなごめると共に工事の安全とその後の生活の平穩を祈願する御祭です。

工事安全の御札（写真①）は、工事期間中に住まいされる所にて神棚（又は南向きの高所）にお祀りし、日々工事の安全をお祈りください。

## 上棟祭とは…

上棟祭は棟上式とも言い、一般的に棟梁（建築業者）が主催することが多く、基礎工事が終って柱（パネル）が立ち、棟木が上がったときに執り行う御祭です。

家の柱が立てられる「お柱立て」は特にめでたい日であり、大黒柱に家を守る神様をお迎えしさらなる繁栄と平穩無事を祈願します。また、高所での危険な作業がはじまる前に大工や作業員の気の引き締め工事の安全を祈願します。

棟札（写真②）には、建物の堅固長久（けんごちょうきゆう）と高所作業での工事安全が籠められています。棟上の時にお祀りし、家屋の守護神に災い無く末永く平安無事であることをお祈りください。

上棟祭は、施主様と建築業者が共にお祝いし「餅まき」などをする地方もありますが、執り行い方・棟札の飾り方は棟梁の作法に従ってください。

棟札は建築後、屋根裏などの見えない場所に納めておきましょう。

### ◆廣峯流の飾り方例◆

- 一、棟札の裏面に上棟年月日、お名前をご記入ください。（写真③）  
棟札は、その家の歴史を語り、半永久的に残りますので、施主様が心を込めてお書きください。
- 二、同封しました扇を円状に広げ、約1mの材木（予めご用意ください）の先端に麻紐等で取り付けてください。（写真④）
- 三、図のように扇の下部に上棟幣（白紙をのり等で取り付けてください）。（写真⑤）
- 四、棟札（写真②）を完成図のように材木部分に釘等で取り付け、その下部に五色布をくくりつけて垂らせば完成です。

## 竣工祭・入居清祓とは…

建築の完成を祝い、建築中に起こった様々な災いや罪穢れを祓い清めると共に、家の繁栄と魔除け祈願として執り行う大切な御祭です。

新築だけでなく、増築や改築後、マンション・アパートなどの集合住宅、建売住宅、中古住宅などを購入・入居される場合にも執り行っています。

魔除けの輪（写真⑥）は、その年の家内安全、無病息災、子孫繁栄のお守りとして、玄関口にお祀りください。



① 工事安全の御札



② 棟札（表）



③ 棟札（裏）



④ 扇を付ける



⑤ 上棟幣を付ける



完成図 棟札を付ける



⑥ 魔除けの輪

## 工事安全の御札について

建物完成後、工事期間中お守りいただいた工事安全の御札は当社社務所にご返納ください。その折に「魔除けの輪」を授与致します。（家内安全のご祈禱も受付しております。）

当社へ参拝できない場合は、地元の神社へ納札戴くか、とんどで燃やして戴くこともできます。